

既成の福澤論 吉イメージから脱却せよ

福澤諭吉といえば、天賦人權説や社会契約説の立場から日本の文明化の必要性を説きつづけた、欧化主義者、文明開化論者、啓蒙思想家としてのイメージを強くもつ思想家である。しかし、そのイメージは福澤思想のほんの二面ではない。既成の福澤イメージは戦後の左翼リベラリストが造作したものであって、福澤思想の真実は、もっと別のところにあると私は考える。



拓殖大学学事顧問
前総長 渡辺 利夫

福澤の代表作は、まぎれもなく『文明論之概略』である。これは日本の文明化の必要性を諄々と説いた著作だと、多くの人々によって受け取られているようだが、それだけでは他の明治の思想家の何人かが論じた主張の一種にすぎない。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

ナショナリズムこそが最高のモラル

私がこの度、「士魂」

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なるか。つまり同書は『文明論之概略』というよりも「独立論」の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤諭吉の
真実
士魂

SHIKON
Watanabe Rikuo

渡辺利夫

福澤思想の「既製品」に頼ることなく福澤自身を書き残した文庫をその思いからである。

本社からの
お知らせ

◆地方講演・懇談会
▽11月15日(火)長崎
▽11月18日(金)福岡
▽11月28日(月)関西
▽11月28日(月)北九州
▽11月28日(月)北九州
▽11月28日(月)北九州